授業科目　こどもの世界

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・健栄・スポ・看護・情報
宮崎　隆穂	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○		○	

【概要・一般目標：GIO】

「子ども」時代は誰しもが経験している。しかしおとなになると忘れてしまうことがたくさんあるように感じないだろうか？たとえば「メリーポピンズ」に出てくる赤ちゃんたちは小鳥と会話したりすることさえやってのける。そこまで極端ではないにせよ、従来の無力な赤ちゃんという認識は誤りであることが近年の赤ちゃん学の発展によって明らかになりつつある。子どもたちの日常は、発見や学びに満ちており、おとなが想像しないようなことでさえ「遊び」に変えてしまう。この講義では、このような子どもたちの発達における重要ないくつかのトピックスに触れながら「子どもの世界」を垣間見ることで、子どもとのかかわりや理解、遊び方のヒントを受講生がそれぞれ考えることを目的とする。

【学習目標・行動目標：SBO】

・「子どもの世界」についての関心を高める
・赤ちゃんから子どもにいたるまでの発達に関するトピックスへの理解を深める
・子どもたちとのかかわりや遊びについて、自らのこととして考察する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	イントロダクション　”子どもの発見”		担当：宮崎　隆穂
2	赤ちゃんの世界　”有能な赤ちゃん”		担当：宮崎　隆穂
3	赤ちゃんと環境　”大事な人は誰？”		担当：宮崎　隆穂
4	赤ちゃんと発達　”大きくなったね”		担当：宮崎　隆穂
5	子どもを取り巻く「おとな」のこと		担当：宮崎　隆穂
6	子どものことば（1）”ことばの前のことば”		担当：宮崎　隆穂
7	子どものことば（2）”言い間違いにも意味はある？”		担当：宮崎　隆穂
8	子どものものの見方・考え方（1）”どっちが多いかな？”		担当：宮崎　隆穂
9	子どものものの見方・考え方（2）”おともだちはどう思うかな？”		担当：宮崎　隆穂
10	子どものものの見方・考え方（3）”悪いのはどっち？”		担当：宮崎　隆穂
11	子どものものの見方・考え方（4）”今すぐしたい！”		担当：宮崎　隆穂
12	子どもの社会（1）”自分でするの！”		担当：宮崎　隆穂
13	子どもの社会（2）”一緒に遊ぼう”		担当：宮崎　隆穂
14	子どもの社会（3）”友だちとのかかわりの中で”		担当：宮崎　隆穂
15	まとめ　”こどもの世界”		担当：宮崎　隆穂

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】

期末試験にて評価を行う。

【履修上の留意点】

参考文献等については､講義内で適宜紹介する｡レジュメや講義資料を配布するので、各自整理しておくこと。